

- ・アルカリ性の強力液体洗剤です。
を除去して熱交換率を改善して電力の浪費を防止します。
- ・植物油、ヤニ、ホコリ等の汚れはもちろん、粘着汚れや重質油、原液で使用する場合は落書きやペンキなども除去する事が可能です。
- ・除菌・消臭効果があります。

・本製品はアルカリ性ですので洗浄条件によって樹脂や金属を侵す恐れがあります。
初めてご使用になる場合は、事前に材質に影響のない事を確認して下さい。

【使用方法】

- ①ジョイナスクリーンを原液もしくは水で希釈してご使用下さい。（0～200倍希釈）
- ②洗浄方法は塗布・拭き取りポリッシャーなどをご使用下さい。
- ③洗浄後は水によるすすぎを十分に行なって下さい。

【性状・荷姿】

| 外 観 | 黄色液体 |
|-----------|-----------|
| pH（1%水溶液） | 12.5 |
| 荷 姿 | 18Kgタフテナー |

作業に関する注意点

- ・SDSをよく読んでからご使用下さい。
- ・作業時にはゴム手袋等の防護具を必ずご使用下さい。
- ・身体に付着すると刺激性がありますのでご注意ください。
- ・付着した場合は、直ちに流水でよく水洗して下さい。
- ・腫れや痛みがある場合は医師の手当てを受けて下さい。

株式会社中外技研

〒543-0001 大阪府大阪市天王寺区上本町5-2-11
上六新興産ビル3階
TEL：06-4305-7851 FAX：06-4305-7852
Mail：info@chugai-giken.jp Web：www.chugai-giken.jp

安全データシート

1、製造品及び会社情報

| | | |
|-------|-------------------|-------------------|
| 会 社 名 | : 会 社 | 株式会社中外技研 |
| | : 住 所 | 大阪市天王寺区上本町 5-2-11 |
| | : 担当部門 | 第一開発部 |
| | : 電 話 | 06-4305-7851 |
| | : ファックス | 06-4305-7852 |
| 作 成 日 | : 2020 年 1 月 10 日 | |
| 改 定 日 | : | |

製 品 名 : ジョイナスクリーン

2、危険有害性の要約

GHS 分類

| 【物理化学的性質】 | 【健康に対する有害性】 |
|---|---|
| 火薬類 【分類対象外】 | 急性毒性（経口） 【区分 4】 |
| 可燃性・引火性ガス 【分類対象外】 | 急性毒性（経皮） 【分類できない】 |
| 可燃性・引火性エアゾール 【分類対象外】 | 急性毒性（ガス） 【分類できない】 |
| 支燃性・酸化性ガス 【分類対象外】 | 急性毒性（蒸気） 【分類できない】 |
| 高压ガス 【分類対象外】 | 急性毒性（粉じん／ミスト） 【分類できない】 |
| 引火性液体 【区分外】 | 皮膚腐食性・刺激性 【区分 1】 |
| 可燃性固体 【分類対象外】 | 眼に対する重篤な損傷・刺激性 【区分 1】 |
| 自己反応性化学品 【分類できない】 | 呼吸器感作性 【分類できない】 |
| 自然発火性液体 【分類できない】 | 皮膚感作性 【分類できない】 |
| 自然発火性固体 【分類対象外】 | 生殖細胞変異原生 【分類できない】 |
| 自己発熱性化学品 【分類できない】 | 発がん性 【分類できない】 |
| 水反応可燃性化学品 【区分外】 | 生殖毒性 【分類できない】 |
| 酸化性液体 【分類できない】 | |
| 酸化性固体 【分類対象外】 | 特定標的臓器・全身毒性 【区分 1】 |
| 有機過酸化物 【分類対象外】 | (単回暴露) (呼吸器系) |
| 金属腐食性物質 【分類できない】 | |
| 【環境に対する有害性】 | |
| 水生環境急性毒性 【区分 3】 | 特定標的臓器・全身毒性 【分類できない】 |
| | (反復暴露) |
| 水生環境慢性毒性 【分類できない】 | 吸引性呼吸器有害性 【区分 1】 |

GHS ラベル要素

【絵表示又はシンボル】



【注意喚起語】

危険

【危険有害性情報】

- ・ 飲み込むと有害（経口）
- ・ 重篤な皮膚の薬傷
- ・ 重篤な眼の損傷

3、組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物

化学名又は一般名 : (アルカリ性) 洗剤

| 化学特性 (化学式等) | 成分名 | CAS 番号 | 濃度又は 濃度範囲(%) | 官報公示整理番号 (化審法・安衛法) |
|------------------|---------|-----------|-----------------|-----------------------|
| 非公開 | 有機酸 | 非公開 | 非公開 | 非公開 |
| 非公開 | アルコール類 | 非公開 | 非公開 | 非公開 |
| KOH | 水酸化カリウム | 1310-73-2 | 5%未満 | 1-410 |
| 非公開 | 界面活性剤 | 非公開 | 非公開 | 非公開 |
| H ₂ O | 水 | 7732-18-5 | 40～60 | |

4、応急処置

吸入した場合

- ・ 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で安静にさせる。
- ・ 気分が悪い場合は、医師の手当、診断を受けること。
- ・ 呼吸していて嘔吐がある場合は、頭を横向きにする。
- ・ 呼吸が止まっている場合、又は呼吸が弱い場合には衣類を緩め、呼吸気道を確保した上で人工呼吸（又は酸素吸入）を行なう。

皮膚に付着した場合

- ・ 直ちに汚染された衣類、靴などを速やかに脱ぎ、取り除くこと。
- ・ 皮膚を流水又はシャワーで洗うこと。
- ・ 刺激が続く場合は、医師の診断を受けること。

- ・ 汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。

眼に入った場合

- ・ 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- ・ 医師の診断を受けること。

飲み込んだ場合

- ・ 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
- ・ 医師の診断を受けること。

5、火災時の措置

消化剤

【小火災】

- ・ 二酸化炭素、粉末消化剤、散水、耐アルコール性泡消火器

【大火災】

- ・ 散水、噴霧水、耐アルコール性泡消火剤

使ってはならない消化剤

- ・ 棒状注水

特有の危険有害性

- ・ 火災によって刺激性、毒性又は腐食性のガスを発生するおそれがある。

特有の消火方法

- ・ 消火作業は風上から行なう。
- ・ 危険でなければ火災区域から容器を移動する。
- ・ 移動不可能な場合、容器及び周囲に散水して冷却する。

消火を行なう者の保護

- ・ 消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6、漏出時の措置

人体に対する注意事項

- ・ 漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。

保護具及び緊急時措置

- ・ 直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。
- ・ 関係者以外の立ち入りを禁止する。
- ・ 作業者は適切な保護具（「8、ばく露防止及び保護措置」の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。
- ・ 漏洩しても火災が発生していない場合、密閉性の高い、不浸透性の保護衣を着用する。
- ・ 風上に留まる。
- ・ 低地から離れる。

環境に対する注意事項

- ・ 河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。環境中に放出してはならない。

回収、中和

- ・ 漏れた液を密閉性の容器に集める。
- ・ こぼれた液を1%程度の硫酸又は塩酸及び弱酸性溶液で注意深く中和し、多量の水で洗い流す。環境中に放出してはならない。

封じ込め及び浄化の方法・機材

- ・ 少量の場合には、ウエス等に吸収させて密閉できる空容器に回収する。
- ・ 大量の場合には、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてから処理する。

二次災害の防止策

- ・ すべての発火源を速やかに取り除く。
- ・ 排水溝、下水道、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7、取り扱い及び保管上の注意

取り扱い

【技術的対策】

- ・ 「8、ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

【局所排気装置・全体換気】

- ・ 「8、ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気装置、全体換気を行なう。

【安全取扱注意事項】

- ・ 使用前に使用説明書を入手すること。
- ・ 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- ・ 周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。
- ・ 容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずるなどの取り扱いをしてはならない。
- ・ 眼、皮膚に付けないこと。
- ・ ミスト・スプレーを吸引しないこと。
- ・ 接触、吸入又は飲み込まないこと。
- ・ 取り扱い後はよく手を洗うこと。
- ・ 屋外又は換気の良い区域で使用する

【接触回避】

- ・ 「10、安定性及び反応性」を参照。

保管

【適切な保管条件】

- ・ 熱、火花、裸火のような着火源から離して保管すること。
- ・ 酸化剤から離して保管する。
- ・ 容器は直接日光や火気を避けること。
- ・ 容器を密閉して換気の良い冷所で保管すること。

【容器包装材料】

- ・ 消防法及び国連輸送法規で規定されている容器を使用する。
- ・ ポリオレフィン等(アトロン缶、ケミドラム、内装ポリオレフェンケース)

8、ばく露防止及び保護措置

管理濃度 : 設定されていない。

許容濃度

| | | |
|------------------|------------|------------------------------|
| 日本産業衛生学会（2009年版） | : 10ppm | 20mg/m ³ （KOHとして） |
| ACGIH（2009年版） | : TLV-TWA | 10ppm（KOHとして） |
| | : TLV-STEL | 20ppm（KOHとして） |

設備対策

- ・ 洗眼器と安全シャワーまたは付近に水道設備があること。
- ・ 屋内作業場での使用の場合は換気を良くして作業を行なう。

保護具

【呼吸器用の保護具】

- ・ 必要に応じて有機ガス用マスク、その他適切な呼吸器保護具を着用する。

【手の保護具】

- ・ ゴム等の不浸透性の保護手袋を着用する。

【眼の保護具】

- ・ 保護眼鏡又は安全ゴーグルを着用する。
- ・ 飛沫を浴びる可能性がある時は、包括的な化学スプラッシュゴーグル、及び顔面シールドを着用すること。

【皮膚及び体の保護具】

- ・ 状況に応じて保護服、保護長靴、保護前掛け、保護衣、

【衛生対策】

- ・ 保護具は保護具点検表により定期的に点検する。

9、物理的及び化学的性質

| | |
|--------------|----------------|
| 物理的状態、形状、色など | : 黄色液体 |
| 臭い | : 僅かな特異臭 |
| PH | : 12.5（1%水溶液） |
| 融点・凝固点 | : -5°C以下 |
| 沸点、初留点及び沸騰範囲 | : 100°C |
| 引火点 | : なし |
| 燃焼又は爆発範囲 | : なし |
| 蒸気圧 | : データなし |
| 蒸気密度（空気=1） | : データなし |
| 比重 | : 1.10（15/4°C） |

| | |
|--------------|------------------------|
| 溶解性 | : 水に微溶、アルコール、エーテルには可溶。 |
| オクタノール／水分配係数 | : データなし |
| 粘度 | : 未測定 |

10、安定性及び反応性

安定性

- ・ 通常の取り扱いにおいて安定である。

危険有害反応性・可能性

- ・ 亜鉛・アルミニウム等を腐食する。
- ・ 酸と接触し中和発熱反応を起こす。
- ・ 多くのプラスチック類を侵す。

避けるべき条件

- ・ 特になし

混触危険物質

- ・ 酸性物質、多くの非鉄金属など。

危険有害な分解生成物

- ・ 燃焼すると一酸化炭素を含む有毒ガスを生成する。

11、有害性情報

急性毒性

- ・ 経口 LD50 : 区分4 1000mg/kg (計算値)
- ・ 経皮 LD50 : 分類できない
- ・ 吸入 LD50 : 分類できない

皮膚腐食性・刺激性

: 皮膚に対して強度の刺激性・腐食性あり。

眼に対する重篤な損傷・刺激性

: 重篤な眼の損傷のおそれ。

呼吸器・皮膚感作性

: データなし

生殖細胞変異原性

: データなし

発がん性

: データなし

生殖毒性

: データなし

特定標的臓器・全身毒性

: 致死量は100g以下で、重篤な食道狭窄。ミストを吸入すると気道、粘膜が侵される。肺水腫を引き起こす。

(単回暴露)

特定標的臓器・全身毒性

: ラット(経口) 影響なし。

(反復暴露)

吸入反復暴露 肺に障害を与える。

水性環境有害性(急性)

: LC50 40.4mg/L 48h (甲殻類 ミジンコ)

: LC50 70ppm 48h (魚類 コイ)

水性環境有害性(慢性)

: データなし

13、廃棄上の注意

残余廃棄物

- ・ 廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。
- ・ 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託処理する。

汚染容器・包装

- ・ 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処分する。

14、輸送上の注意

国際規制

| | |
|------|---------------|
| 国連番号 | : 1814 |
| 国連分類 | : クラス 8 腐食性物質 |
| 品名 | : アルカリ洗剤 |
| 容器等級 | : II |

国内規制

陸上 消防法 : 非危険物

輸送の特定の安全対策及び条件

- ・ 輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等が無いことを確認する。
- ・ 転倒、落下、破損が無いように積み込み、荷崩れ防止を確実にこなう。
- ・ 該当法規に従い、包装、表示、輸送を行なう。
- ・ 火気注意

15、適用法令

| | |
|------------------|-----------------------------|
| 労働安全衛生法 | : 名称等を通知すべき有害物（水酸化カリウム5%未満） |
| 毒物及び劇物取締法 | : 非該当 |
| 消防法 | : 非該当 |
| 化学物質管理促進法（PRTR法） | : 非該当 |

16、その他の情報

参考文献

- 1) 各原料メーカーの製品安全データシート
- 2) Patty (5th, 2001)
- 3) DFGOT vol.19 (2003)
- 4) GHS 国連文書 改訂2版
- 5) 容器イエローカード塗料用マニュアル
- 6) GHS 対応 MSDS の書き方
- 7) 国際化学物質安全性カード (ICSC)

記載内容の取り扱い

- ・ 記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、含有量、

物理化学的性質、危険・有害性に関しては、いかなる保証をなすものではありません。注意事項は通常取り扱いを対象としたものであって、特殊な取り扱いの場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上ご使用下さい。